

◆小中一貫教育推進シート

南河内小中学校区 学習指導部会

【目指す子ども像】

自分の考えをもち、主体的に学び合う子

【実践研究課題】

基礎基本の定着を図り、児童生徒が意欲的に取り組む授業の工夫
～確かな学力と主体的に学び合う態度の育成を目指して～

【児童生徒の実態】

自分の考えをもち、主体的に学び合う態度を深め合うための土台となる基礎基本の力については個人差が大きい。

【部会のねらい】

9年間を通して児童生徒の「主体的に学び合う態度の育成」を目指す。そのために、「基礎基本の定着、学習習慣の見直し」「児童生徒が意欲的に集中して取り組める授業の工夫」について取組を進め、小中一貫校の良さを生かしながら指導の実践や学び合う教員集団を目標とする。

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> ・授業、朝の活動(週2回「ぐんぐんタイム」)、家庭学習などを通して、基礎基本の定着を図る。 ・前・後期課程で児童生徒の課題の共有を図り、作成した改善プランを基に課題解決に向けた具体的な取組の共通実践を図る。 ・校内授業公開期間の設定。(全教員公開)
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日													
	P		D						C	A	P		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校課題についての共通理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会 ・組織づくり ・研修計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校課題についての研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開① 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上改善プランの作成 ・とちぎっ子学習状況調査の分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開② 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校課題・改善プランについての研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組について ・取組(学校課題・改善プラン)の成果と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上改善レポートの作成 ・学校課題についてのアンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会 ・成果と課題の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向けての計画立案 	

◆小中一貫教育推進シート

南河内小中学校区 特活部会

【目指す子ども像】

学校行事等における異学年交流などにより、人とのつながりを大切にしながら共遊・協働する中で、よりよい人間関係や集団を築こうとする児童生徒

【実践研究課題】

学校行事をはじめとし、集会や委員会活動など、昨年度よりも多くの場面において、前期課程・後期課程の児童生徒の交流場面を設定し、異学年集団活動の実践を充実させる。

【児童生徒の実態】

昨年度同様、異学年との交流に抵抗が少なく互いに思いやりをもって活動することができる。その場の状況を理解・判断し、自主的に行動する児童生徒が少ないのは課題である。

【部会のねらい】

異学年活動を通して、望ましい人間関係の形成を図るとともに、自覚や責任、思いやりや協力の姿勢を育む。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	・昨年度の反省から、全校共遊以外の場面において、異学年活動を取り入れる。その際、事前・事後における前期課程・後期課程の教員の共通理解を確実に図る。子ども未来プロジェクトと連動した「つながり」をテーマとして、異学年交流を実践していく。
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日													
	P		D							C	A	P	
		・ 体育祭 ・ 組織づくり ・ 研修計画	・ 第一回 全校共遊 ・ 第一回 全校共遊 ・ 第一回 全校共遊	・ 専門委員会チーフ会議①	・ 第一回 全校共遊反省・夕顔祭に向けて	・ 第二回 全校共遊 ・ 専門委員会チーフ会議②	・ 夕顔祭	・ 第三回 全校共遊	・ 専門委員会チーフ会議③		・ 今年度の取組の反省	・ 次年度の計画・立案	

◆小中一貫教育推進シート

南河内小中学校区 児童生徒指導部会

【目指す子ども像】

- ・時と場に応じて、元気よく気持ちのよいあいさつができる。
- ・いつも時刻を守り行動することができる。
- ・全校児童生徒の活動をとおして、コミュニケーション能力を育む。

【実践研究課題】

9年間を通して、コミュニケーション能力の育成を図るとともに、礼儀や規範意識を高めていく。

【児童生徒の実態】

素直で穏やかな児童生徒が多く、休み時間には前期課程・後期課程の枠を超えて児童・生徒と一緒に遊ぶ様子も見受けられる。一方、昨年度からあいさつや返事の声が小さかったりできなかったりする児童・生徒も見られる。また、自分の考えや意見・思いなどを伝えることが苦手な児童・生徒が多く、課題と考えている。

【部会のねらい】

前・後期課程の先生方が、あいさつや時間を守ることの大切さを共通理解し、系統的に礼儀や規範意識の醸成を図るとともに、いじめを許さない心を育てていく。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	-------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	----------------------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や専門委員会等で、あいさつの意味を考えさせ、元気よく気持ちのよいあいさつについて考えさせる。 ・いじめ防止月間で、前・後期課程を合わせて交流させ、いじめについて話し合いをさせる。 ・特活部会と連携し、縦割りでの共遊において、異学年交流の意味を考えさせる。
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日													
	P →		D →						C →	A →	P →		
		<ul style="list-style-type: none"> ・全体会 ・組織づくり ・研修計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一回 全校共遊 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画修正、情報共有 ・いじめ防止月間計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二回 全校共遊 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三回 全校共遊 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止月間振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒指導部会の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の計画・立案 	